



# 化石・恐竜

## レファレンス事典

# 凡 例

## 1. 本書の内容

本書は、国内の代表的な化石・恐竜・古生物に関する図鑑に掲載されている化石・古生物の索引である。見出しとしての化石名・古生物名のほか、学名や英名等、漢字表記、地質年代、綱目科名、別名等、その化石・古生物の特定に必要な基礎情報を補記し、その化石・古生物がどの図鑑にどのような名称で掲載されているかを示したものである。

## 2. 収録範囲と総種数

国内で刊行された（主に1990年代以降）、化石・恐竜・古生物の図鑑やそれに準ずる解説書（展覧会カタログ等は除く）36種49冊に掲載されている化石・古生物12,234種（のべ16,652件）を収録とした。索引対象にした図鑑類は別表（「収録図鑑一覧」）に示した。なお、児童向け、ムック類は収録対象外とした。

## 3. 見出し・排列

### (1) 化石・古生物名見出し

同一種は各図鑑での見出しにかかわらず一項目にまとめた。その際、より一般的な名称を見出しに採用した。表記は原則としていずれかの図鑑に記載されたとおりとした。但し、明らかな誤記・誤植は訂正した。見出しと異なる別名等は適宜参照見出しとして立てた。

### (2) 排 列

- 1) 見出しの五十音順に排列した。見出しが英字で始まるもの（学名）は、ABC順とし五十音の後に置いた。
- 2) 濁音・半濁音は清音扱いとし、ヂ→ジ、ヅ→ズとみなした。また拗促音は直音扱いとし、長音（音引き）は無視した。
- 3) 見出しの下では、掲載図鑑の略号の読みの五十音順とし、その中の各図版は掲載ページもしくは掲載番号順に示した。

### (3) 記述

見出しとした化石・古生物に関する記述の内容と順序は次の通りである。

学名もしくは英名等／漢字表記／解説

#### 1) 学名・英名

可能な限り学名を示した。表記は原則として各図鑑に記載されたとおりとした。

#### 2) 漢字表記

漢字表記がある場合はそれを示した。

#### 3) 解説

化石・古生物を同定するための情報として地質年代、古生物の種類、綱目科名、別名、大きさ、主な分布地（化石産出地）等を示した。表記は原則として各図鑑に記載されたとおりとした。

## 4. 掲載図鑑

### (1) 図鑑略号

その化石・古生物が掲載されている図鑑を①の後に略号で示した（略号は別表を参照）。各図鑑における見出しが本書の見出しと異なる場合は、その略号の後に〔 〕で囲んで示した。

### (2) 記述

記述の内容と順序は次の通りである。

（掲載ページもしくは掲載番号／図版種類）〈②化石産地 標本サイズ 特徴等〉

#### 1) 掲載ページ

各図鑑における見出し掲載ページもしくは掲載番号を示した。1冊のうちに複数回記載されている場合は「,」で区切って示した。

#### 2) 図版種類

図版の種類を次のように略して示した。

カラーで印刷されている場合→「カ」

モノクロ（単色）で印刷されている場合→「モ」

写真の場合→「写」

図の場合→「図」

復元図の場合→「復」

### 3) 化石産地・標本サイズ・特徴等

各図鑑に掲載された化石の産出地、大きさ、特徴等を示した。表記は原則として各図鑑に記載されたとおりとした。産出地、大きさ、特徴等の異なる複数の化石が掲載されている場合は、項目ごとに「,」で区切って示した。

## 5. 収録図鑑一覧

(1) 本書で索引対象にした図鑑の一覧を次ページに掲げた。

(2) 略号は、本書において掲載図鑑名の表示に用いたものである。

(3) 掲載は、略号の読みの五十音順とした。

## 6. 学名・英名索引

(1) 本文に収録した化石・古生物の学名または英名とその見出し名、掲載ページを示した。

(2) 学名は属名のアルファベット順（同一の属は種名のアルファベット順）に排列した。

## 収録図鑑一覧

略号	書名	出版社	刊行年月
アン学	アンモナイト学	東海大学出版会	2001.12
アン最	アンモナイト～アンモナイト最新化石図鑑 蘇る太古からの秘宝～	アンモナイト研究所	2009.10
学古生	学生版 日本古生物図鑑 再版	北隆館	1986.7
化写真	化石の写真図鑑	日本ヴォーグ社	1996.1
化石図	化石図鑑～地球の歴史をかたる古生物たち～	誠文堂新光社	2011.1
化石フ	化石 (Field selection 20)	北隆館	1995.2
化百科	化石の百科事典	朝倉書店	2012.1
恐イラ	恐竜イラスト百科事典	朝倉書店	2008.10
恐古生	恐竜大図鑑—古生物と恐竜	ネコ・パブリッシング	2002.7
恐絶動	原色版 恐竜・絶滅動物図鑑	大日本絵画	1993.1
恐太古	恐竜大図鑑—よみがえる太古の世界	日経ナショナルジオグラフィック社	2002.7
恐竜世	恐竜～驚きの世界	ネコ・パブリッシング	2012.7
恐竜博	恐竜博物図鑑	新樹社	2005.2
原色化	原色化石図鑑	保育社	1966.9
古脊椎	古脊椎動物図鑑 普及版	朝倉書店	2004.4
古代生	古代生物図鑑 (ベスト新書)	KKベストセラーズ	2016.1
産地新	産地別日本の化石650選—本でみる化石博物館・新館	築地書館	2003.3
産地別	産地別日本の化石750選—本でみる化石博物館・別館	築地書館	2015.1
産地本	産地別日本の化石800選—本でみる化石博物館	築地書館	2000.3
三葉虫	世界の三葉虫	信山社	1996.9
植物化	植物化石 5億年の記憶	LIXIL出版	2016.8
進化大	生物の進化大図鑑	河出書房新社	2010.10
図解化	図解 世界の化石大百科	河出書房新社	2000.1
生ミス1	生物ミステリーPRO エディアカラ紀・カンブリア紀の生物	技術評論社	2013.12
生ミス2	生物ミステリーPRO オルドビス紀・シルル紀の生物	技術評論社	2013.12
生ミス3	生物ミステリーPRO デボン紀の生物	技術評論社	2014.8

生ミス4	生物ミステリーPRO 石炭紀・ペルム紀の生物	技術評論社	2014.8
生ミス5	生物ミステリーPRO 三疊紀の生物	技術評論社	2015.7
生ミス6	生物ミステリーPRO ジュラ紀の生物	技術評論社	2015.7
生ミス7	生物ミステリーPRO 白亜紀の生物 上巻	技術評論社	2015.9
生ミス8	生物ミステリーPRO 白亜紀の生物 下巻	技術評論社	2015.9
生ミス9	生物ミステリーPRO 古第三紀・新第三紀・第四紀の生物 上巻	技術評論社	2016.8
生ミス10	生物ミステリーPRO 古第三紀・新第三紀・第四紀の生物 下巻	技術評論社	2016.8
絶哺乳	新版 絶滅哺乳類図鑑	丸善出版	2011.1
世変化	世界を変えた100の化石	エクスナレッジ	2018.7
ゾル1	ゾルンホーフエン化石図譜1	朝倉書店	2007.5
ゾル2	ゾルンホーフエン化石図譜2	朝倉書店	2007.7
地球博	地球博物学大図鑑	東京書籍	2012.6
澄江生	澄江生物群化石図譜—カンブリア紀の爆発的進化	朝倉書店	2008.3
日化譜	日本化石図譜 増訂版 (普及版)	朝倉書店	2010.8
日恐竜	日本の恐竜図鑑—じつは恐竜王国日本列島	築地書館	2012.2
日絶古	日本の絶滅古生物図鑑	築地書館	2013.2
日白亜	日本の白亜紀・恐竜図鑑	築地書館	2015.8
熱河生	熱河生物群化石図譜—羽毛恐竜の時代	朝倉書店	2007.11
バ頁岩	バージェス頁岩 化石図譜	朝倉書店	2003.9
モ恐竜	モンゴル大恐竜	北海道大学出版会	2006.7
よみ恐	よみがえる恐竜・大百科 超ビジュアルCG版	ソフトバンククリエイティブ	2010.7
リア古	リアルサイズ古生物図鑑 古生代編	技術評論社	2018.8
リア中	リアルサイズ古生物図鑑 中生代編	技術評論社	2019.8

## 【ア】

アイシエアイア *Ayshecia*

古生代カンブリア紀の有爪動物。バージェス頁岩動物群。全長6cm。◎カナダ、アメリカ、中国など

♯生ミス1 (図3-2-12/カ写、カ復) (4cm)

生ミス1 (図3-5-8/カ復)

アイシエアイア・ペドウンクラタ *Ayshecia*

*pedunculata*

カンブリア紀の無脊椎動物節足動物有爪類。サイズ1~6cm。◎カナダ、アメリカ、中国

♯図解化 (p95-F/カ写) (◎アリティッシュ・コロンビア州バージェス頁岩)

ハ頁岩【アイシエアイア】(図87~89/モ復、モ写)

(◎カナダのバージェス頁岩)

リア古【アイシエアイア】(p18/カ復)

アイズヤマナラシ *Populus aizuana*

新生代中新世後期の陸上植物。ヤナギ科。

♯学古生 (図2274/モ写) (◎秋田県湯沢市下新田)

日化譜 (図版76-1/モ写) (◎福島県那摩郡相川)

## アイダ ⇒ダーウィニウスを見よ

アイノセラス *Ainoceras*

中生代白亜紀の軟体動物頭足類アンモナイト類。

♯生ミス7 (図4-8/カ写) (◎北海道中川町 長径約5cm)

## アイノセラス

中生代白亜紀の軟体動物頭足類。

♯産地別 (p187/カ写) (◎和歌山県有田郡有田川町清水 長径3.4cm)

アイノセラス・カムイ *Ainoceras kamuy*

カンパニアン期の軟体動物アンモナイト。アンキロセラス亜目ノストセラス科。

♯アン学 (図版39-2/カ写) (◎平取町貫気別地域)

アン叢 (p129/カ写) (◎北海道)

化石P (p126/カ写) (◎北海道日高郡浦河町 高さ70mm)

日化譜【*Ainoceras kamuy*】(図版53-13/モ写) (◎北海道日高国浦河)

アイノセラス・パウシコスタータム *Ainoceras*

*paucicostatum*

カンパニアン期の頭足類アンモナイト。アンキロセラス亜目ノストセラス科。

♯アン学 (図版39-1/カ写) (◎平取町貫気別地域)

学古生【アイノセラス・パウシコスタータム】

(図518/モ写) (◎北海道中川郡中川町川べの沢)

日化譜【*Ainoceras paucicostatum*】

(図版86-18/モ写) (◎北海道アベシナイ、浦河)

## アイノセラス・パウシコスタータム ⇒アイノ

セラス・パウシコスタータムを見よ

アイヒシュテッティア・マイリ *Eichstaettia mayri*

ジュラ紀後期の脊椎動物真骨魚類。

♯ゾル2 (図164/カ写) (◎ドイツのアイヒシュテット 20cm)

## アイヒシュテッティサウルス・シュロエデリ

*Eichstaettisaurus schroederi*

ジュラ紀後期の脊椎動物爬虫類トカゲ類。

♯ゾル2 (図232/カ写) (◎ドイツのアイヒシュテット 12cm)

アイフェリア *Eiffelia globosa*

カンブリア紀の海綿動物。海綿動物門石灰海綿綱アイフェリア科。サイズ16mm。

♯ハ頁岩 (図38,39/モ写、モ復) (◎カナダのバージェス頁岩)

アイブクス *Aiwukus* sp.

中新世後期の哺乳類齧脚類。食肉目セイウチ科。頭骨全長約30cm。◎北アメリカ西岸

♯絶哺乳 (p154/カ復)

## アイリッシュ・エルク ⇒メガロケロス・ギガント

ウスを見よ

アイルサクリヌス *Ailsacrinus abbreviatus*

中期ジュラ紀の無脊椎動物ウミユリ類。ミルレクリヌス目ミルレリクリヌス科。萼の直径1.5cm。

◎イギリス

♯化写真 (p174/カ写) (◎イギリス)

## アイルラブス

始新世からの哺乳類ネズミ類リス型類。齧歯目イスキロミス科。

♯絶哺乳 (p123/カ写) (◎ドイツのメッセル 57cm)

アヴァケラトプス *Avaceratops*

白亜紀カンパニアン期の恐竜類ケラトプス類。ケラトプス科セントロサウルス亜科。若い個体の体長2.5m。成熟したものはおそらく4m。◎アメリカ合衆国のモンタナ州

♯恐イラ (p234/カ復)

アヴィクロベクテン *Aviculopecten*

デボン紀~ペルム紀の軟体動物二枚貝類。

♯化百科 (p154/カ写) (3cm)

アヴィクロベクテン *Aviculopecten tenuicollis*

石炭紀~ペルム紀の無脊椎動物二枚貝類。ウグイスガイ目アヴィクロベクテン科。体長2.5cm。◎世界中

♯化写真 (p98/カ写) (◎西オーストラリア)

## アウイテルメッスス・グラブソイデウス

白亜紀後期の無脊椎動物節足動物。殻の長さ約6cm。◎アメリカ合衆国南東部

♯進化大【アウイテルメッスス】(p303/カ写)

アーヴェカスピス・イネソニ *Aaveqaspis insoni*

古生代カンブリア紀の節足動物。シリウス・バセット動物群。全長3cm未満。◎グリーンランド

♯生ミス1【アーヴェカスピス】(図3-4-4/カ復)

アウカサウルス *Aucasaurus*

白亜紀カンパニアン期の恐竜類獣脚類アベリサウルス類。体長5m。◎アルゼンチンのネウケン州

♯恐イラ (p184/カ復)

## アウカサウルス

白亜紀前期の恐竜類獣脚類。体長4m。◎アルゼンチン

♯進化大 (p320/カ復)

**アウストウラロピテクス** *Australopithecus*  
400万～200万年前(ネオジンの)哺乳類。身長1.2～1.4m。◎アフリカ  
♯恐竜世(p278～279/カ写,カ復)〈頭骨,歩行跡〉

**アウストウラロピテクス・アフアレシス** ⇒アウストラロピテクス・アフアレシスを見よ

**アウストラリケラス** ⇒オーストラリケラス・ジャッキイを見よ

**アウストラロキシロンの1種**  
ベルム紀～三疊紀の植物グロッソプテリス類。全長1～8m。◎南半球  
♯進化大〔グロッソプテリス〕(p176/カ写,カ復)

**アウストラロピテクス** *Australopithecus boisei*  
鮮新世～前期更新世の脊椎動物哺乳類。霊長目ヒト科。体長1.4m。◎アフリカ  
♯化写真(p282/カ写)〈◎エチオピア 下顎〉

**アウストラロピテクス・アナメンシス**  
420万～390万年前の人類。◎ケニアの東トゥルカナとカナボイ,エチオピアのミドル・アワッシュ  
♯進化大(p148/カ写)〈あご,脚〉

**アウストラロピテクス・アフアレシス**  
*Australopithecus afarensis*  
鮮新世の哺乳類霊長類人類。直鼻猿目ヒト科ヒト亜科。疎林,樹木のある草原に生息。身長約1.1m。◎アフリカ  
♯化百科(p249/カ写)〈◎エチオピアのハダール近郊 大腿骨の長さ25cm “ルーシー”〉

恐古生〔アウストウラロピテクス・アフアレシス〕(p230～231/カ復)  
恐絶動(p294/カ復)  
生ミス10(図E-4/カ写)〈◎エチオピア 推定身長1m 標本番号AL-288-1。通称「ルーシー」〉  
絶哺乳乳(p85,86/カ写,カ復)〈ルーシーの復元骨格〉

**アウストラロピテクス・アフアレシス**  
410万～200万年前の人類。身長1.05～1.51m。◎エチオピア,ケニア  
♯進化大(p150～151/カ写)

**アウストラロピテクス・アフリカヌス**  
*Australopithecus africanus*  
鮮新世～更新世の哺乳類人類。霊長目ヒト科。身長1.3m。◎エチオピア,ケニア,南アフリカ共和国,タンザニア  
♯恐絶動(p294/カ復)  
古脊椎〔アウストラロピテクス〕(図224/モ復)  
世変化〔アウストラロピテクス〕(図92/カ写)〈◎南アフリカのステールクフォンテン 幅12cm レプリカ〉

**アウストラロピテクス・アフリカヌス**  
350万～200万年前の哺乳類霊長類。直鼻猿目ヒト科ヒト亜科。身長1.4m。◎南アフリカの各地  
♯進化大(p149/カ写)〈タウング・チャイルド,ミセス・プレス〉  
絶哺乳乳(p86/カ写)〈子供の頭骨と脳の型(模式標本)〉

**アウストラロピテクス・ガルヒ**  
300万～200万年前の人類。脳の大きさ450cm<sup>3</sup>。◎エチオピアのアファール  
♯進化大(p148)

**アウストラロピテクス・バルエルガザリ**  
360万～300万年前の人類。◎チャドのバルエルガザリ  
♯進化大(p148/カ写)〈あご〉

**アウストラロピテクス・ロブストゥス**  
*Australopithecus robustus*  
鮮新世後期～更新世前期の哺乳類人類。ヒト科。身長1.6m。◎南アフリカ共和国,タンザニア  
♯恐絶動(p294/カ復)

**アウプリソドン類** *Aublysodontids*  
白亜紀前期～後期の恐竜類獣脚類。竜盤目獣脚亜目ティラノサウルス上科アウプリソドン科。肉食恐竜。初期のティラノサウルスの仲間。体長60cm。◎石川県,福井県,熊本県  
♯日恐竜(p20/カ写,カ復)〈◎石川県白山市桑島 約3.5mm 前上顎骨の歯〉

**アウラコスフィンクテスの1種** *Aulacosphinctes* sp.  
中生代ジュラ紀最末期のアンモナイト。ペリアゼラ科。  
♯学古生(図456/モ写)〈◎熊本県八代郡坂本村坂本〉

**アウラコフォリア** *Aulacophoria keyserlingiana*  
前期石炭紀の無脊椎動物腕足動物。オルチス目エンテレーテス科。体長3cm。◎ヨーロッパ  
♯化写真(p86/カ写)〈◎イギリス〉

**アウラコプレウラ** *Aulacopleura* sp.  
シルル紀の無脊椎動物節足動物。  
♯図解化(p100-9/カ写)〈◎ポヘミア〉

**アウリラ・シンバ** *Aurila cymba*  
新生代更新世の甲殻類(貝形類)。ヘミシセレ科ヘミシセレ亜科。  
♯学古生(図1867/モ写)〈◎神奈川県宮田層 左殻〉

**アウロクリヌス・ベルス** *Aulocrinus bellus*  
古生代石炭紀の棘皮動物ウミユリ類。  
♯化石図(p72/カ写,カ復)〈◎アメリカ合衆国 化石の長さ約8cm〉

**アウロポラ・セルペン** *Aulopora serpens*  
デヴォン紀の無脊椎動物腔腸動物。  
♯図解化(p71-3/カ写)〈◎ドイツ〉

**アエオロサウルス** *Acolosaurus*  
白亜紀カンパニアンまたはマーストリヒシアン期の恐竜類ティタノサウルス類。体長15m。◎パタゴニア  
♯恐イラ(p209/カ復)

**アエゲル** *Aeger* sp.  
ジュラ紀前期の無脊椎動物節足動物。  
♯図解化(p106-4/カ写)〈◎イタリアのオステノ〉

**アエゲル・インシグニス** ⇒エーガー・インシグニスを見よ

**アエゲル・チブラリス** ⇒エーガー・ティブラリスを見よ

**アエスクニディウム・デンスム** *Aeschnidium densum*  
ジュラ紀後期の無脊椎動物昆虫類トンボ類。  
♯ゾル1(図341/カ写)〈◎ドイツのアイヒシュテット 翅開長8.8cm〉

**アエスクニディウム・ヘイシャンコウエンセの成虫** *Aeschnidium heishankowense*  
中生代の昆虫類トンボ類。トンボ目アエスクニディウム科。熱河生物群。  
♯熱河生(図73/カ写)〈◎中国の遼寧省北票の黄半吉溝 羽を広げた幅約130mm メス〉

**アエスクノゴムフス・インテルメディウス** *Aeschnogomphus intermedius*  
ジュラ紀後期の無脊椎動物昆虫類トンボ類。  
♯ゾル1(図342/カ写)〈◎ドイツのゾルンホーフエン 20cm〉

**アエスクノゴムフス属の種** *Aeschnogomphus* sp.  
ジュラ紀後期の無脊椎動物昆虫類トンボ類。  
♯図解化〔アエスクノゴムフス〕(p112-1/カ写)〈◎ドイツのゾルンホーフエン〉  
ゾル1(図343/カ写)〈◎ドイツのアイヒシュテット 翅開長22cm〉

**アエスクノプシス・ティシュリンゲリ** *Aeschnopsis tischlingeri*  
ジュラ紀後期の無脊椎動物昆虫類トンボ類。  
♯ゾル1(図344/カ写)〈◎ドイツのアイヒシュテット 翅開長7cm〉

**アエトサウルス** *Aetosaurus*  
中生代三疊紀の爬虫類双弓類主竜類クルロタルシ類アエトサウルス類。全長1.5m。◎ドイツ,グリーンランド,イタリアほか  
♯生ミス5(図5-9/カ復,カ写)〈◎ドイツ〉

**アエトサウロイデス** *Actosauroides*  
中生代三疊紀の爬虫類双弓類主竜類クルロタルシ類アエトサウルス類。全長3m。◎アルゼンチン,ブラジル  
♯生ミス5(図5-12/カ復)

**アエビオルニス・ティタン** ⇒エビオルニス・ティタンを見よ

**アエピカメルス** *Aepyacamelus*  
1500万～500万年前(中新世前期～中新世後期)の哺乳類核脚類。鯨偶蹄目ラクダ科。疎林,樹木の生えた草原に生息。全高3m。◎北アメリカ  
♯恐古生(p266～267/カ復)  
恐絶動〔エピカメルス〕(p277/カ復)  
恐竜世(p267/カ復)  
絶哺乳乳(p185/カ復)

**アオカスラ** *Sabia japonica*  
新生代鮮新世の陸上植物。アワブキ科。  
♯学古生(図2472,2473/モ図)〈◎愛知県瀬戸市印所,愛知県土岐市押沢〉

**アオキイクチス**  
白亜紀オーテリビアン期～パレミアン期?の淡水魚。  
♯日白亜(p31/カ写)〈◎福岡県小倉市・宮若市 全長1.6cm〉

**アオキツキガイモドキ** *Lucinoma aokii*  
更新世前期の軟体動物斧足類。  
♯日化譜(図版45-21/モ写)〈◎千葉県長生郡長柄村笠森〉

**アオザメ** *Isurus oxyrinchus*  
新生代更新世前期の魚類。ネズミザメ科。

♯学古生(図1940/モ写)〈◎神奈川県横浜市中区本牧錦町〉

**アオザメ**  
新生代第三紀中新世の脊椎動物軟骨魚類。別名イヌルス。

♯産地新(p17/カ写)〈◎宮城県黒川郡大和町鶴巣 高さ3cm,高さ3.8cm〉  
産地新(p120/カ写)〈◎石川県輪島市輪島崎町鴨が浦 歯冠の高さ3cm 歯〉  
産地新(p122/カ写)〈◎石川県羽咋郡富来町関野鼻 歯冠の高さ2cm 歯〉  
産地別〔イヌルス〕(p153/カ写)〈◎石川県七尾市白馬町 高さ2.2cm〉  
産地別〔イヌルス〕(p215/カ写)〈◎滋賀県甲賀市土山町笹路 高さ2.2cm 歯〉  
産地本(p74/カ写)〈◎宮城県遠田郡涌谷町 高さ1.5cm〉  
産地本(p75/カ写)〈◎宮城県亶理郡亶理町神宮寺 高さ2.5cm 摩耗した歯〉  
産地本(p80/カ写)〈◎茨城県北茨城市中郷町 高さ2.5cm〉  
産地本(p189/カ写)〈◎三重県安芸郡美里村柳谷 高さ3.4cm,高さ3.7cm 歯〉  
産地本(p189/カ写)〈◎三重県安芸郡美里村柳谷 高さ3.6cm 歯〉

**アオザメ**  
新生代第三紀鮮新世の脊椎動物軟骨魚類。別名イヌルス。

♯産地新(p70/カ写)〈◎千葉県安房郡鋸南町奥元名 高さ5cm 歯〉  
産地本(p85/カ写)〈◎千葉県銚子市長崎鼻海岸 高さ2.6cm 歯〉  
産地本(p88/カ写)〈◎千葉県安房郡鋸南町奥元名 高さ3.2cm 歯〉

**アオザメ**  
新生代第四紀更新世の脊椎動物軟骨魚類。別名イヌルス。  
♯産地新(p81/カ写)〈◎千葉県君津市市宿 高さ3.5cm 歯〉

**アオシマオキナエビス**  
新生代第三紀鮮新世の軟体動物腹足類。別名ベトロカス・アオシマイ。  
♯産地本(p87/カ写)〈◎千葉県安房郡鋸南町奥元名 径11cm〉  
産地本(p87/カ写)〈◎千葉県安房郡鋸南町奥元名 径9cm〉

**アオシマオキナエビス(新)** *Perotrochus aosimai*  
鮮新世前期の軟体動物腹足類。  
♯日化譜(図版26-6/モ写)〈◎千葉県銚子,犬若〉

**アオバイボヤギ** ⇒タバネサンゴを見よ  
**アオバナイボヤギ** *Caulastraea tumida gracilis*  
現世の六射サンゴ。  
♯日化譜(図版19-2/モ写)〈◎千葉県館山〉

**アオモリゾウ** *Palaeoloxodon amoriensis*  
更新世後期の哺乳類長鼻類。  
♯日化譜(図版67-12/モ写)〈◎栃木県安蘇郡葛生町大叶 など 右下第1大白歯〉

## 【 A 】

- A bivalve attached on Quenstedtoceras lamberti*  
 →二枚貝 ..... 293  
*Aavegaspis inesoni* →アヴェカスピス・イネ  
 ソニ ..... 3  
*Abderospira punctulata* →キサミタマゴガイ ..... 121  
*Abelisaurus* →アベリサウルス ..... 24  
*Abies* →モミ属の花粉 ..... 456  
*Abies aburaensis* →セタナモミ ..... 225  
*Abies balsamea* →バルサムモミ ..... 327  
*Abies firma* →モミ ..... 456  
*Abies mariesii* →アオモリトドマツ ..... 6  
*Abies n-suzukii* →スズキモミ ..... 211  
*Abies protofirma* →カセキモミ ..... 104  
*Abies sanzugawaensis* →サンズガワモミ ..... 183  
*Abies ugoensis* →ウゴモミ ..... 56  
*Abietinaepollenites (Pinus) sp.* ..... 494  
*Abriotosaurus* →アブリクトサウルス ..... 23  
*Acadagnostus exaratus* →アカダグノスツス ..... 6  
*Acadoparadoxides mureoensis* →アカドバラド  
 キシデス ムレレンシス ..... 6  
*Acalepha deperdita* →アカレファ・デベルディタ ..... 7  
*Acanthocardia (Acanthocardia) aculeata* ..... 494  
*Acanthocardia (Acanthocardia) erinacea* ..... 494  
*Acanthocardia (Acanthocardia) paucicostata* ..... 494  
*Acanthoceras rothomagensis* ..... 494  
*Acanthochirana angulata* →アカントキラナ・  
 アングラタ ..... 7  
*Acanthochirana cenomanica* →アカントキラ  
 ナ・ケノマニカ ..... 7  
*Acanthochirana cordata* →アカントキラナ・コ  
 ルダタ ..... 7  
*Acanthochirana longipes* →アカントキラナ・  
 ロンギベス ..... 7  
*Acanthochonia barrandei* →アカントコニア ..... 7  
 "Acanthocybium" sp. →カマスサワラ属未定種  
 の菌 ..... 109  
*Acanthocythereis dunelmensis* →アカンソシセ  
 レイス・デュネルメンシス ..... 7  
*Acanthodes* →アカントデス ..... 8  
*Acanthodesia savaltii* →アミメヒダコケムシ ..... 25  
*Acanthomeridion serratum* →アカンソメリ  
 ディオン・セラトゥム ..... 7  
*Acanthopecten onukii* →アカンソベクテン・オ  
 スキイ ..... 7  
*Acanthopecten spinosus* ..... 494  
*Acanthopholis* →アカントフォリス ..... 8  
*Acanthopyge* →アカンソビゲ ..... 7  
*Acanthopyge balliviani* →アカンソビゲバリ  
 ヴィアニ ..... 7  
*Acanthopyge sp.* →アカンソビゲの一種 ..... 7  
*Acanthoscaphites nodosus* →アカントスカフィ  
 テス・ノドース ..... 7  
*Acanthostega* →アカントステガ ..... 7  
*Acanthostega gunnari* →アカントステガ・グン  
 ナリ ..... 8  
*Acanthoteuthis leichi* →アカントトイティス・  
 ライキ ..... 8  
*Acanthoteuthis mayri* →アプロブレマティカ ..... 383  
*Acanthoteuthis sp.* →アカントトイティス属の種 ..... 8  
*Acanthoteuthis speciosa* →アカントトイティ  
 ス・スベキオサ ..... 8  
*Acanthoteuthis* →アカントテウチス属 ..... 8  
*Acanthotrignonia higoensis* ..... 495  
*Acanthotrignonia longiloba* ..... 495  
*Acanthotrignonia moriana* ..... 495  
*Acanthotrignonia ogawai* ..... 495  
*Acanthotrignonia pustulosa* ..... 495  
*Acaste* →アカステ ..... 6  
*Acer* →カエデ ..... 99  
*Acer arcticum* →キョクチカエデ ..... 127  
*Acer debilum* →シオツボカエデ ..... 186  
*Acer diabolicum* →カジカエデ ..... 102  
*Acer ezoonum* →エゾカエデ ..... 70  
*Acer fatisiaefolia* →フジオカエデ ..... 355  
*Acer florinii* →サントウイタヤ ..... 183  
*Acer imaii* →イマイカエデ ..... 50  
*Acer integrimum* →ムカシイタヤ ..... 437  
*Acer japonicum* →ハウチワカエデ ..... 307  
*Acer megasamarum* →セタナカエデ ..... 225  
*Acer micranthum* →コミネカエデ ..... 168  
*Acer miohenry* →サントウミツデカエデ ..... 184  
*Acer mono* →イタヤカエデ ..... 47  
*Acer nordenskioldii* →モギカエデ ..... 453  
*Acer nordenskioldii* →カエデ ..... 99  
*Acer oishii* →オオイシカエデ ..... 83  
*Acer opteryx* →カエデの種子 ..... 99  
*Acer palaeodiabolicum* →ムカシカジカエデ ..... 438  
*Acer palaeorufinerve* →ムカシウリハダカエデ ..... 437  
*Acer palmatum* →イロハカエデ ..... 51  
*Acer pictum* →イタヤカエデ ..... 47  
*Acer protojaponicum* →ムカシハウチワカエデ ..... 439  
*Acer protosieboldianum* →ムカシメイゲツカエ  
 デ ..... 440  
*Acer ryozenensis* →リョウゼンカエデ ..... 479  
*Acer sp.* →カエデの仲間 ..... 100  
*Acer subukurunduense* →キタミオガラバナ ..... 123  
*Acer trilobatum* →ブラウンカエデ ..... 364  
*Acer yabei* →ヤベカエデ ..... 460  
*Acer yamanae* →ヤマナサトウカエデ ..... 461  
*Acervoschwaegerina endoi* →アケルボシウゲ  
 リナの1種 ..... 12  
*Acerularia ananas* →アセルブラリア・アナナ  
 ス ..... 17  
*Acerularia sp.* →アケルブラリア ..... 12  
*Acharax tokunagai* →トクナガキスタレガイ ..... 274  
*Achelousaurus* →アケロウサウルス ..... 12  
*Achistrum* →アキストルム ..... 8  
*Achistrum welleri* →アキストルム・ウエレリ ..... 8  
*Acidaspis roemeri* →アキダスピス ..... 8  
*Acila kiensis* →キシユオオキララガイ ..... 122  
*Acila nakazimai* →ナカジマキララガイ ..... 285  
*Acila sp. aff. A. elongata* →オオキララガイの1種 ..... 84  
*Acila (Acila) brevis* →タマキララガイ ..... 239  
*Acila (Acila) divaricata* →オオキララガイ ..... 84  
*Acila (Acila) divaricata submirabilis* →オオキ  
 ララガイモドキ ..... 84  
*Acila (Truncacila) insignis* →キララガイ ..... 129  
*Acila (Truncacila) nagaoui* →ナガオキララガ  
 イ ..... 285  
*Acila (Truncacila) nakazimai* →ナカジマキラ  
 ラガイ ..... 285  
*Acila (Truncacila) picturata* →ポロナイキラ  
 ラガイ ..... 411  
*Acinonyx pardinensis* →アキノニクス ..... 8

---

# 化石・恐竜レファレンス事典

---

2019年10月25日 第1刷発行

---

発行者／大高利夫

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <http://www.nichigai.co.jp/>

発売元／株式会社紀伊屋書店

〒163-8636 東京都新宿区新宿3-17-7

電話 (03)3354-0131 (代表)

ホールセール部(営業) 電話 (03)6910-0519

---

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

---

不許複製・禁無断転載

(中性紙三菱クリームエレガ使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-2796-6

Printed in Japan, 2019

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。